

巻頭言

校長 脇 浩 一

このたび奄美高等学校令和5年度研究紀要「あまみ」第12号が完成しました。

今年度は、『『逆風』～走り出せ 未来へ～』を学校スローガンに掲げて教育活動を行ってまいりました。猛威をふるった新型コロナウイルス感染症が、学校保健安全法で五類へ移行され、それ以降のすべての学校行事等については各種の制限を設けることなく、滞りなく実施することができました。また、各学科の特色ある学科の学びや取組についても、地域をフィールドとして実践活動を行うことができました。生徒は実践活動をとおして、自らが学んだことを生かすことができる喜びと、活動に参加していただいたみなさまからの評価及び取組を成し遂げたことによる大きな自信を得ることができました。各種の取り組みについて御理解と御協力をいただきました保護者のみなさま、奄美市をはじめ関係者のみなさまに心から感謝申し上げます。

さて、本研究紀要には、全日制の各学科、定時制から、それぞれ以下のような教育活動の特色ある実践を紹介してあります。

- 機械電気科：生徒が憩いの場としていた図書室への恩返し of 気持ちを込めて製作した、制作物をはじめとした課題研究への取り組みについて。
- 商業科・情報処理科：全国商業教育研究大会分科会で発表した「奄美高校レストラン」から「奄美の魅力フルコース堪能プロジェクト」への変遷と取組状況について。
- 家政科：地域から「あまかせ」の愛称で親しまれている家政科の、紙に加え、スマートフォンから動画を視聴することができるレシピの作成及び今年度奄美市で実施された「全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門」、「燃ゆる感動かごしま国体相撲競技」でのおもてなし活動や奄美の食文化の発信について。
- 衛生看護科：ICT機器を活用した分かり易い授業の実践例について。
- 定時制：大島地区の生徒指導連絡協議会での実践発表から、生徒が車座になって一つのテーマについて話し合いを行う「哲学対話」に関すること。

また、フレッシュ研修及びパワーアップ研修において、数多くの研究授業を実践された先生方からは、ICT機器の効果的な活用方法や観点別評価等について改めて考える機会となった授業の学習指導案。その他にも、機械電気科の横山教諭から「ロボットの製作」について、2023かごしま総文郷土芸能部門部門代表委員の慶教諭から「第47回全国高等学校総合文化祭（2023かごしま総文）郷土芸能部門大会」について執筆していただきました。

この研究紀要が先生方の日頃の取組をさらに深める契機となり、奄美高校の教育活動がこれまで以上に充実・発展することを期待します。また、みなさまにお読みいただき、御助言や御指導をいただければ幸甚です。